

# 日本鐵鋼協會記事

**昭和 27 年第 2 回理事會報告** 日時: 昭和27年 4 月16日(水) 16時30分~19時30分. 場所: 協會々議室. 出席者: (會長)伊藤隆吉, (副會長)小林佐三郎. (理事)石原善雄, 內川 悟, 菊池浩介, 佐藤忠雄, 横山均次. (前會長)俵 國一, 松下長久, 三島徳七, 山岡 武, 田中清治. (監事)志村清次郎. (常務委員)石田 稔, 俵 信次, 毛利獻三郎, 柳 武.

**報告事項 (I)** 昭和27年第 1 回編集委員會. 日時: 昭和27年 3 月18日(火) 16.30~20.00. 場所: 協會々議室. 出席者: (理事)岡本正三君. (常務委員)芥川武君, 菊池浩介君, 俵信次君. (編集委員)池田義孝君, 內山道良君, 澤繁樹君, 長谷川正義君, 松下幸雄君, 光井清君, 森永孝三君, 安田洋一君, 山本正義君, 吉田道一君. (主事)金谷三松.

**【報告事項】** (1) 昭和27年 2 月號は 2 月29日竣成, 發送すみ. (2) 昭和27年 3 月號は 3 月末日竣成豫定の處, 論文追加及講演大會等のため遅延, 4月17日に竣成の筈. (3) 第43回講演大會大要録は 3 月15日竣成, 送附すみ.

**【協議事項】** (1) 米國のケミカル・アブストラクト社より「鐵と鋼」の抄録依頼の件{報筆者選考の上回答のこと(菊池委員擔當)}. (2) 鐵鋼化學分析全書紹介の件(掲載のこと). (3) 講演大會職務分擔の件(略). (4) 編集委員原稿蒐集分擔の件, A班—論文, 抄録(安田, 池田, 山木, 澤, 長谷川, 岡本, 濱本, 俵各委員). B班—技術資料, 研究部會報告, 工場設備合理化等(森永, 光井, 吉田, 內山, 三橋, 菊池, 芥川, 松下各委員).

**(II) 第 37 回通常總會** 昭和27年 4 月 1 日11時10分~12時. 會場: 東大工學部第 2 號館第21號教室. 出席者: 正會員 132 名, 委任出席者 4263 名, 出席合計 4395 名. **【總會次第】** (1) 開會の辭, 田中會長. (2) 役員選舉(立會人)川上義弘君, 繪野澤喜之助君. (3) 事業報告, 佐藤理事. (4) 昭和26年度收支決算報告, 石原理事. (5) 定款中改正(會費値上げ a. 正會員年會費 800 圓, 學生會員年 500 圓に. b. 入會金は正會員 200 圓, 學生會員 100 圓に. c. 此の値上げは昭和27年 1 月より實施のこと)の件, 田中會長説明, 滿場異議なく可決. (6) 昭和 27 年度收支豫算報告. (7) 監事監査報告, 菊田監事. (8) 役員選舉の結果報告, 川上義弘君(全員異議なく原案に賛成, 原案通り決定). (9) 表彰式.

**(III) 第 43 回講演大會** 昭和27年 4 月 1 日, 2日(講演). 3日(見學會). 大會出席申込者 676 名. 出席者: 第1日 第2日共約 700 名. 會場: 東大工學部第 2 號館 3 階 4 會場(4 教室にて). (參考, 講演大要賣捌數 640 冊). 講演數: 第1日, 67 第2日, 47

**(IV) 懇親會**(日本金屬學會, 日本鐵鋼協會合同) 27—4—4. 14時~17時, 東大山上會議所に於て. 出席者: 84名 內鐵鋼協會側, 招待者共 49 名. 賓客として田中館愛橋, 本多光太郎, 俵國一, 桂辯三, 大河内正敏(缺)金子恭輔, 村上武次郎, 川上義弘, 各先生並びに本年度表彰者を招待. 特別援助者(受領順) 八幡製鐵(5,000圓), 神戸製鐵(2,000圓), 富士製鐵(5,000圓), 川崎製鐵(5,000圓), 日本製鐵所(5,000圓), 日本鋼管(5,000圓), 神鋼金屬工業(2,000圓), 新扶桑金屬(5,000圓), 日本特殊鋼(3,000圓), 古河電氣工業(3,000圓), 東都製鐵(5,000圓), 東京鋼材(3,000圓), 山岡 武(2,000圓).

懇親會收支概算		收 入	支 出
寄 附 金	50,000 圓	精 養 軒	79,000 圓
一 般 參 加 者	36,000 圓	賓 客 お土産料	8,000 圓
日本金屬學會より分擔金	4,710 圓	寫 真 代	1,440 圓
		通 信 費	698 圓
		雜 費	1,572 圓
合 計	90,710 圓	合 計	90,710 圓

**(V) 維持會員八幡製鐵三鬼社長弔慰造花** (5,000 圓) 贈呈の件. (事後承認)

**(VI) 金谷主事病氣見舞** (5,000 圓) 贈呈の件. (事後承認)

**(VII) 鐵鋼協會關西支部長より送附ありたる昭和26年度事業報告書の件.** (回覽)

**協議事項** (1) 理事分擔職務の件. (案) 石原善雄(會計), 內川 悟(庶務), 菊池浩介(編集), 佐藤忠雄(庶務),

田畑新太郎(講演), 横山均次(編集), 湯川正夫(研, 調). 原案通り決定, 承認. (2) 秋季講演大會開催地の件. 11月初旬, 福岡. (本月下旬, 谷村教授上京の節, 三島前會長より打合せていたゞくこと). (3) 工學會上半期 (27年) 會費(3,000圓)拂込の件, 承認並に同會通常總會(4月24日後1時於日本鐵業會々議室)に出席(缺席)の件. (會長代理として内川理事に出席を御依頼すること). (4) 昭和27年度第1月(27年3月分)收支決算審議の件, 承認. (5) 入退會者及會員異動の件, 承認. (6) 日本材料試驗協會(假稱)創立發起人として, 協會々長に承諾を求め來れる件, 承諾のもとに決定. (7) 日本學術會議第12回總會(4月22, 23, 24日)傍聽希望者申出の件, なし.

(91頁より續く)

設備として平爐 50t 2基 (内1基稼動) 電氣爐 4基, 高周波爐 1基, コシキ爐 1基その他鑄鋼設備, 壓延設備, 鍛造設備を有している. 製品として中小山形鋼, 小形棒鋼 (月産能力約 5,000t) 鑄鋼品 (月産約 200t) グリッド, 鍛鋼品等を生産する. 尙 20系ロールの製造方

法に高周波湯口加熱装置の研究を完成し, 歩留向上に著しい効果をあげている. 當工場は發足後單壓工場であつたが今年に入り平爐の稼動を開始し, 設備上製造技術上の研究改善をはかり, 躍進を示している.

(吉田道一記)



# 日新耐火工業株式会社

珪石煉瓦 製鋼用 骸炭爐用  
 瓦斯爐用 硝子爐用  
 黒鉛坩堝・黒鉛製ノーズル  
 ストツパー及スリーブ

取締役社長 藤戸翼

本社工場 兵庫縣相生市那波一八六八番地  
 東京支社 電話相生二五八・二六五・五一七番  
 大阪事務所 電話都中央區日本橋吳服橋三ノ七(東京建物ビル) 電話日本橋(24)四七六二・五五六九番  
 下關工場 大阪市西區京町橋通一ノ一八日新耐火ビル 電話土佐堀六一九・五六〇六・五六〇七・四六〇番  
 東京工場 下關市彦島田ノ首町一八六三番地 電話下關四六三二・四八六三番  
 赤羽(80)二一八六番地 電話都板橋區志村町四一丁目二〇番地

# Furnace. Brick.

鐵鋼耐火煉瓦

各種工業窯爐設計施行  
日本鋼管製耐火物販賣

耐火煉瓦

耐火モルタル

レフラメント  
(特殊耐火)  
モルタル

製造販賣

## 日本窯爐株式會社

本社 川崎市宮本町39 電話川崎3981  
 第一工場 川崎市港町31 電話川崎4830  
 第二工場 愛知知多常滑町 電常滑456.388  
 東京連絡所 東京大田雪ヶ谷電荏原(08)6497  
 名古屋連絡所 名古屋中川横堀町電南(32)3791